学校番号	２１２

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術を学ぶとは、何が美であるのかを探る行為を通して、物事の本質は何なのかを考えることである。
・作品の良さについては、実際に作品を制作しつつ国内外の様々な作家や作品から幅広く知識や技術を学び、自身の取り組みの意味や喜びを見つけて得た成長の成果とする。表現したいものや表現方法にこだわりを持って制作し、試行錯誤を重ねることで到達するものであり、表現の深さや強さとして表れ、作品の密度や完成度に結び付く。
・鑑賞においては、優れた作品に接して作者の制作意図や時代背景を学ぶことで、作品を見る目を養い、技術面だけでなくより深く表現活動や作品制作の意味を理解するものとする。また、自己の作品制作に求めるものを考える手立てでもある。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・課題に関心を持ち、主体的に積極的に取り組んでいる。 ・こだわりを持って取り組み、より良い作品になるよう試行錯誤しつつ制作している。 ・準備、後片付けに至るまで、課題を念頭におきつつおこなえている	・課題に対し、自分なりの解釈や表現を試みている。 ・常日頃からの様々な芸術文化、社会への関心の深さが発揮されている。	・作業手順を理解し、無駄なく動けている。 ・材料、道具の特性や良さを生かして表現している。 ・それぞれの作業を丁寧に行っている。	・学んだ分野や特性、その課題の魅力を理解して、自他の作品や国内外の作家の作品を鑑賞している。 ・学んだ材料、道具についての知識を持ちつつ、独自の観点で作品の良さを見つけている。
評価方法	・作品 ・ワークプリント	・作品 ・ワークプリント	・作品	・ワークプリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション・鑑賞 絵画	○授業の取り組み方や教室の使い方、道具について説明する。	○				a:説明を聞き、理解できているか。プリントの完成度。	プリント
		○鑑賞「美術の流れ」 教科書を使用して、西洋と日本の美術の流れを、作品を通して見、自分の感想を述べる。	○			○	d:美術の流れに積極的に関心を持ち、作品や作者、時代背景について考えながら自分の意見を述べているか。	プリント
		○「自画像・鉛筆デッサン」 ・鉛筆を使用し、線を重ねることで明暗の調子をつくる。 ・全体のバランスを攫むこと、立体として捉えることの学習。	○	◎	○	○	自画像について a:モチーフに関心を持ち、積極的に描いている。 b:観察してとらえたことを表現したデッサンになっている。 c:筆圧を調整し、鉛筆の濃さや線の重なりを作れている。 d:他の生徒の作品に関心を持ち、お互いの良さを伝え合う。	製作中の様子 作品 ・デッサン
		○「モダンテクニックの体験」 ・モダンテクニックの技法を体験し、ファイルにまとめる。	○				a:モダンテクニックの技法について関心を持ち、十分に取り組んでいる。	ファイル
		○「賑やかな夢の中の私(絵画作品)」 ・自画像の周りをモダンテクニックで制作した紙を使ってコラージュで表現する。	◎	◎	○		a:テーマを理解し、テーマに沿った夢の世界をイメージしつつ、積極的に取り組んでいる。 b:テーマに独自の解釈を加えてモダンテクニックを活かした絵作りができている。自分の作品についてのイメージをしっかり持って取り組んでいる。 c:コラージュにおいて素材のカッティング、糊付けなど丁寧にできている。 d:自分の作品の良さをみつけて言葉で説明できている。	作品 プリント
		・鑑賞 完成した作品を鑑賞し、制作意図や感想をレポートにまとめる。				○		

2学期	紙の立体表現	○紙の立体練習課題	○		○		a:課題に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。 c:紙の特性や、カッターナイフの使い方を理解し、丁寧に作業できている。	作品
	鑑賞	○「世界の仮面」 「張り子」 ・古今東西の仮面 （写真資料）を鑑賞し、様々な国の文化を知り、仮面のもつ意味や役割を理解する。	○			○	a:積極的に取り組んでいる。 d:仮面の造形や張り子の作られ方や伝来を理解してプリントを完成している。	プリント
	立体	○「仮面を作る」 ・仮面とは、過去現在において、人間にとってどういう意味あいを持つものであったか？を考える。 ・アイデアスケッチをする。 ・マケットを制作する。 ・厚紙を使って本制作をする。 ・形が完成したら、和紙を全体に貼っていく(3重)。 ・彩色をする。 下塗りから色を重ね、奥行きのある色使いを意識し、濃さや、塗り方を工夫し、ストーリーを感じる色の表現を目指す。描き込みによる装飾なども積極的に行う。 ・紐をつけ、仮面として完成させ、展示する。	○	◎	○		a:課題に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。 b:顔の形を表現しつつも、独自の発想で表現している。 彩色において、重ね塗りをし、ストーリーを感じる色の表現ができている。 細部までこだわりを持って作っている。 c:紙の立体表現で学んだことを活かして、立体的な造形表現ができている。和紙の貼り方にも工夫と丁寧さがみられる。	制作の様子 アイデアスケッチ マケット 作品

3学期	デザイン・立体	「詩とイメージのコラボ BOX」 ・30編の詩を読んで、各自が表現したい詩のことばを選ぶ。 ・ワークシートを使い、詩のことばからイメージする世界を自分のことばで書き出す。	○				a:詩をよく読みこみ、自分なりの解釈を様々な観点から引き出し、自分のことばと絵で描き出している。 箱の下地作りにも積極的に取り組んでいる。	ワークシート
		・本制作 箱になる用紙に下塗りをする。様々な技法で絵の具を重ね、下地作りをする。 ・限られた空間の中で詩のイメージを表現するために、効果的な構成を考える。詩のイメージとのバランスを考えて、文字の配置・書体・色や大きさを工夫する。	○	◎	◎		a:1 学期、2 学期に学んだ技法や技術を活かして積極的に取り組んでいる。 b：詩の解釈に独自性があり、想像力豊かである。自分が関心をもった詩のことばとそこからのイメージとの関係を意識して表現している。 c:箱の特性を理解し、作業手順を考えて制作できている。 詩の世界の見え方を考えて、箱内の世界を構成している。 効果的にモダンテクニックや紙の立体表現を工夫している。	制作の様子 作品
		・生徒同士でお互いの作品について語り合い、表現の違いや、それぞれの工夫を発見する。				○	d: 他の生徒と作品について話しをし、制作意図や表現の工夫を発見しあう。	

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。